

学校だより みんなの森合小

～自分の考えをもつ力 人を大切にする力 自分を表現する力 チャレンジする力～

NO. 6

令和4年8月22日

発行者

森合小学校長 渡邊かほる

新たな気持ちで スタート！

～みんなで創る「どの子にとっても安心な森合小」～



2学期がスタートしました。夏休み明けは「心と体が不調」になる傾向があります。全ての子どもたちが、安心して学校生活が送れるよう教職員一同、子どもの心の声に耳を傾けていきます。

夏休み明け 特に次の3点について配慮していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

◇目の前の子どもの声に耳を傾けます。

- ◎子どもを見る 観る 看る 視る。
- ◎子どもの話・心の声を聴く。◎表面的な言動から、心の内側を考える。

◇全職員が、すべての子ども、全校生の担任という意識で対応します。

- ◎「子どもたちの困り感」を全職員で共有
- ◎学級（特に特別支援学級）や学年の枠を超えた学び合い

◇新型コロナウイルス感染拡大防止への対応を一層重視して生活します。

- ◎3年目になった感染状況 変異するウイルスの理解
- ◎検温票の提出、石鹸での手洗い、消毒、3密の回避
- ◎給食時の黙食、休校になっても慌てない授業の充実、家庭とオンライン

- 今後の学校行事や教育活動は、コロナ感染予防を一層考慮して内容・方法を変更・改善



チャレンジする力の発揮

～結果もだけれど、それ以上に過程が スゴイ！～

福島市小学校体育大会水泳競技会が、7月26日に、福島市中央市民プールで行われ、6年生の代表選手が出場しました。自ら希望し、大会までの練習にも、取り組んだ選手たちは、「チャレンジする力」を発揮しました。特に、大会までの練習に取り組む姿などの過程が、素晴らしかったです。

学校対抗総合「3位」

第1位 女子メドレーリレー・フリーリレー
女子50mバタフライ 女子50m平泳ぎ
女子200m個人メドレー

第4位 女子50m背泳ぎ

第7位 女子50m背泳ぎ

福島市市民大会水泳競技大会が、8月10日に、福島市中央市民プールで行われ、保護者付き添いで個人参加でも、チャレンジするという力を発揮しました。

第2位 男子50mバタフライ 女子50m自由形

第4位 女子50m平泳ぎ

第5位 女子50m平泳ぎ

人を大切にする力を発揮

～特に、「自分」を大切にしてみよう～

夏休みの生活から、学校生活へ調子に戻すのには、少し時間がかかります。いつもと比べて、「元気がない」「眠れない」「口数が少ない」など、不調をきたすことも予想されます。子どもたちには、SOSを出すよう話をしています。ここで発揮するのが、「人を大切にする力」です。「人」の中には自分も含まれています。ただ「頑張る」ことを求めるのではなく、不安や嫌な気持ちを伝え、相談することを大切にしていきます。

(裏面の資料を ご覧ください)



子どもは体験しながら学んでいきます。起こることすべてに意味があり、結果ではなく過程を大事にし、すべてを学びに変えるという気持ちで生活することを勧めています。4つの力「自分の考えを持つ」「自分を表現する」「チャレンジする」「人を大切にする」をどんどん発揮していきます。

1 今の自分はどんな気持ち？



晴れ
心の元気度
80%～100%
今日のアナタは元気いっぱいのおうですね！何事にも挑戦できるエネルギーにあふれています！



くもり
心の元気度
50%～80%
今日のアナタは少し不安なことがあるようですね。何が不安な気持ちの原因か、考えてみませんか？



雨
心の元気度
30%～50%
今日のアナタは心がかたがたしているようです。食事や睡眠は十分に取れていますか？休憩することも大事！



大雨
心の元気度
0%～30%
今日のアナタの心は非常につらい状況のようですね。何かが原因でイライラしているのかもしれない。

2 自分の「SOS」、どのように伝えるの？

まずは、だれかに話してみる ～仲間を見つける～

自分が相談しやすいのはどんな人ですか？友だち、先輩、後輩、学校の先生、家族。専門の人に電話で相談することもできますよ。（専門の人については🍀を見ましょう）



⚠️ 注意すべきこと ⚠️
～インターネット上の友だち？～

インターネットのトラブルが後を絶ちません。トラブルにまきこまれた人からは、「自分はトラブルにまきこまれないと思っていた。」とか、「ネット上では（もしくはSNS上では）とても親切に相談に乗ってくれていた。」という言葉をよく耳にします。あなたが悩んでいることにつけこみ、悪いことをする人がいます。取り返しのつかない事件・事故にまきこまれることのないよう、身近な人や専門窓口への相談を最優先に考えてください。



相談の仕方① ～学校の先生～

ここからは2つの例を見ていきたいと思います。まずは「学校の先生」に相談する例です。相談する先生は担任の先生だけではなく、保健室の先生や学年の先生、教科の先生など、あなたが話しやすい先生でよいと思います。

- 【伝える内容】
- (1) こまっていること
 - (2) いつから
 - (3) 心や身体のサイン

自分の事を話すというのは、大人でも緊張するものです。「うまく話せるかな？」という心配もあります。しかし、大事なことは自分が「困っている状態」であることを相手に知ってもらうことです。上手に伝えられなくても「先生、うまく言えないんですけど、ちょっとつらくて…」のように、まずは相手に伝えましょう。

相談の仕方② ～仲のよい友だち～

仲のよい友だちには逆に話にくい、という人もいますね。しかし、仲のよい友だちは、あなたのSOSに気が付いてるかもしれません。勇気を出して話してみませんか？

- 【伝える内容】
- (1) 今の気持ち
 - (2) 言える範囲でこまっていること

話をするきっかけは何でもよいと思います。昨日見たテレビや好きなアーティストのことなどをきっかけとして、まずはあなたが今、どんな気持ちでいるのかを話してみよう。



相談できることは、人とつながることのできる大切な力です